

第3回 小浜市水道料金等制度審議会（下水道使用料制度）

日時 令和8年3月17日（火）19時30分から
場所 小浜市役所 4階 大会議室

次 第

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 確認事項

- ・第2回会議録の確認

4. 議 事

- ・小浜市下水道事業の経営状況と今後の見通しについて

5. 次回の開催日程について

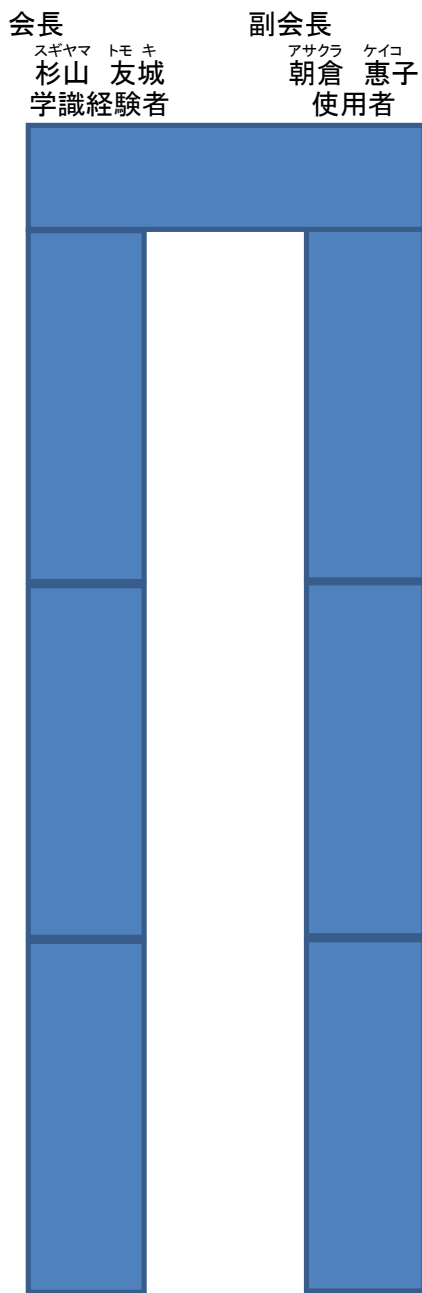
令和8年 月 日（ ） 時 分～

6. その他

7. 閉 会

第3回 小浜市水道料金等制度審議会(下水道使用料制度) 席表

令和8年3月17日(火)19:30～
小浜市役所4F／大会議室



会長
スギヤマ トモキ
杉山 友城
学識経験者

副会長
アサクラ ケイコ
朝倉 恵子
使用者

サノ タツヤ
佐野 達也
市議会議員

クドウ コ
工藤 ふさ子
使用者

クミタニ テツオ
組谷 哲央
学識経験者

オカモト レイコ
岡本 礼子
使用者

アズマ ノブユキ
東 信之
使用者(小浜地区)

カワムラ サチエ
河村 幸枝
使用者

ナカヤ タケシ
中谷 健
使用者(雲浜地区)

マツダ カツヒコ
松田 克彦
使用者(今富地区)

イセ ヒデアキ
伊勢 英章
使用者(西津地区)

コサカ トシオ
小坂 俊夫
使用者(遠敷地区)

オオシタ シュウイチ
大下 修一
使用者(国富地区)

経済産業部長(幹事)
カワラ ヒロカズ
河原 弘和

上下水道課長
チャダニ マスユキ
茶谷 益之

上下水道課長補佐
シゲタ ケンゴ
重田 健吾

上下水道GL
オオタニ タイチロウ
大谷 太一郎

上下水道主事
カワスジ ワタル
川筋 航

小浜浄化センター次長
オオニシ ヒロシ
大西 博司

上下水道GL
デグチ ヨシオ
出口 伊男

上下水道主査
フルタ タカヒロ
古田 貴洋

上下水道主査
ミゾグチ カズキ
溝口 和輝

上下水道主事
タカダ ツバサ
高田 翼

小浜市水道料金等制度審議会（下水道使用料制度）委員名簿

NO	代 表	地 区 等	氏 名	備 考
1	市議会議員	小浜市議会産業教育 常任委員会委員長	サノ タツヤ 佐野 達也	
2	学識経験者	福井県立大学 経済学部経営学科教授	スギヤマ トモキ 杉山 友城	会長
3	〃	小浜商工会議所 副会頭	ヤマダ ヒデアキ 山田 秀晃	
4	〃	北陸税理士会 小浜支部	クミタニ テツオ 組谷 哲央	
5	下水道使用者	小浜	アズマ ノブユキ 東 信之	
6	〃	雲浜	ナカヤ タケン 中谷 健	
7	〃	西津	イセ ヒデアキ 伊勢 英章	
8	〃	国富	オオシタ シュウイチ 大下 修一	
9	〃	遠敷	コサカ トシオ 小坂 俊夫	
10	〃	今富	マツダ カツヒコ 松田 克彦	
11	〃	有限会社せくみ屋	フジハラ セイジ 藤原 清次	
12	〃	株式会社ママーストアー	カワムラ サチエ 河村 幸枝	
13	〃	杉田玄白記念公立小浜病院	オカモト レイコ 岡本 礼子	
14	〃	小浜男女共同参画ネット ワーク	アサクラ ケイコ 朝倉 恵子	副会長
15	〃	〃	クドウ ふさ子 工藤 ぶさ子	

事務局（上下水道課）

経済産業部長	カワラ ヒロカズ 河原 弘和	上下水道課長	チャダニ マスユキ 茶谷 益行
下水建設管理グループ	オオタニ タイチロウ 大谷 太一郎	浄化センター次長	オオニシ ヒロシ 大西 博司
上下水道経営グループ	デグチ ヨシオ 出口 伊男	シゲタ ケンゴ 重田 健吾	フルタ タカヒロ 古田 貴洋
	ミゾグチ カズキ 溝口 和輝	タカダ ツバサ 高田 翼	カワスジ ワタル 川筋 航

前回の質疑に対する回答

第2回審議会の質疑に対して回答します。

番号	質疑	回答
1	キャッシュ・フロー計算書の説明。	比較的良好な経営状況にあると考えられます。 (本資料P2～P4にて説明)
2	下水道使用料算定の基本的考え方、県内自治体の下水道使用料の体系を教えてほしい。	下水道使用料の算定にあたっては、法令等による基本原則等を参考に、各自治体の実情に応じて、適宜、合理的な範囲で実態に即した検討が必要であり、その体系は自治体ごとに多様です。 (本資料P5～P6にて説明)

下水道事業会計の概要と状況について

■ 下水道事業会計の現状（小浜市の令和6年度決算書※の抜粋）

【図解】キャッシュ・フロー計算書

- キャッシュ・フロー計算書は、対象年度中の現金の増減とその理由を表す報告書です。
- 損益計算書、貸借対照表からは読み取りにくい、「1年間の現金の流れ」を、「業務活動」「投資活動」「財務活動」の3つに区分して表示することで、資金繰りの状況を明らかにし、経営の健全性や経営悪化などの判断が可能となるものです。

業務活動によるキャッシュ・フロー

外部からの資金調達に頼ることなく、どのくらいの資金を本来の業務活動で獲得したかを表したもので、主に収益的収支の内容を表しています。

→+（プラス）であることから、業務活動が良好であることがわかります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

固定資産の取得など、将来の利益および資金獲得のための設備投資にどのくらいの資金を支出したか、また、その資金をどのくらい回収したかを表したもので、主に資本的収支の内容を表します。

→△（マイナス）であることから、積極的に投資を行っていることがわかります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

業務活動や投資活動を維持するために、どのくらいの資金を調達し、また、返済したかを表したもので、主に資本的収支の内容を表します。

→△（マイナス）であることから、借入残高が減少していることがわかります。

貸借対照表（B/S）現金預金と一致

令和6年度 小浜市下水道事業キャッシュ・フロー計算書（間接法）
（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

（単位 円）

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	55,051,538
減価償却費	1,009,947,696
資産減耗費	1,957,249
長期前受金戻入額	△ 466,615,461
支払利息および企業債取扱諸費	163,954,540
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△ 245,771
賞与等引当金の増減額（△は減少）	1,083,000
破産更生債権等の増減額（△は増加）	△ 21,290
未収金の増減額（△は増加）	51,195,077
その他流動資産の増減額（△は減少）	50,000
未払金の増減額（△は減少）	△ 11,048,222
前受金の増減額（△は減少）	26,816,432
小計	832,124,788
利息の支払額	△ 163,618,373
業務活動によるキャッシュ・フロー	668,506,415
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 499,892,400
無形固定資産の取得による支出	0
国・県補助金による収入	90,527,917
受益者負担金による収入	8,321,972
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 401,042,511
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
企業債（※1）の発行による収入	553,000,000
企業債（※2）の償還による支出	△ 1,194,764,941
リース債務の返済による支出	△ 305,267
出資金による収入	232,498,787
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 409,571,421
IV 資金増加（減少）額	△ 142,107,517
V 資金期首残高	599,492,419
VI 資金期末残高	457,384,902

※1 建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入

※2 建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出

下水道事業会計の概要と状況について

■ 下水道事業会計の現状（キャッシュ・フロー計算書の読み方の例）

	業務活動	投資活動	財務活動	概要
パターン①	+ (プラス)	△ (マイナス)	△ (マイナス)	本業の業績は概ね良好であり、有利子負債残高を減少させつつ、建設改良に係る投資も実施しているため、比較的良好な経営状況にあると想定される。
パターン②	+ (プラス)	△ (マイナス)	+ (プラス)	本業の業績は概ね良好であるが、建設改良に係る投資財源を有利子負債に依存し、かつその残高が増加しているため、今後の返済負担増加が想定される。
パターン③	△ (マイナス)	△ (マイナス)	+ (プラス)	本業の業績が厳しく、建設改良に係る投資財源に加え、日常の運転資金も有利子負債に依存している可能性があるなど、資金繰りが非常にタイトになっていると想定される。

→ 小浜市下水道事業は、このパターンに該当しています。

(参考) 下水道事業会計の概要と状況について

■ 下水道事業会計の現状 (小浜市の令和6年度決算額を簡易記載)

キャッシュ・フロー計算書

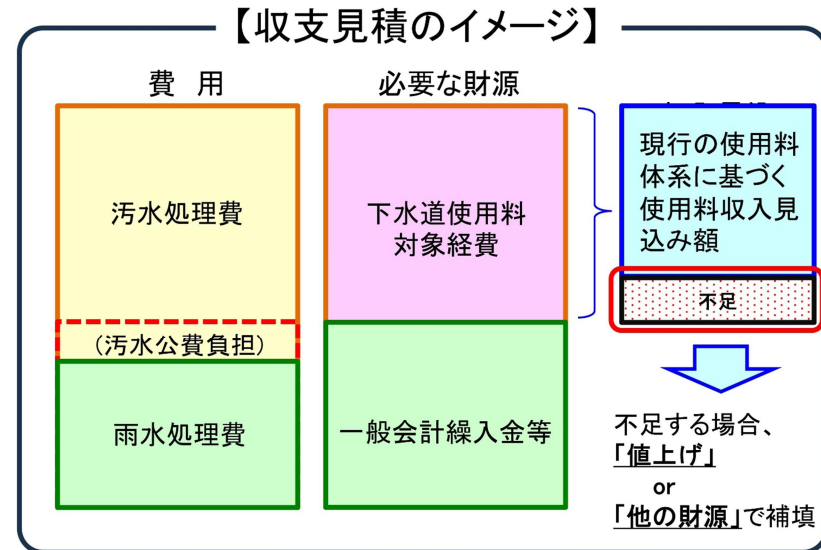
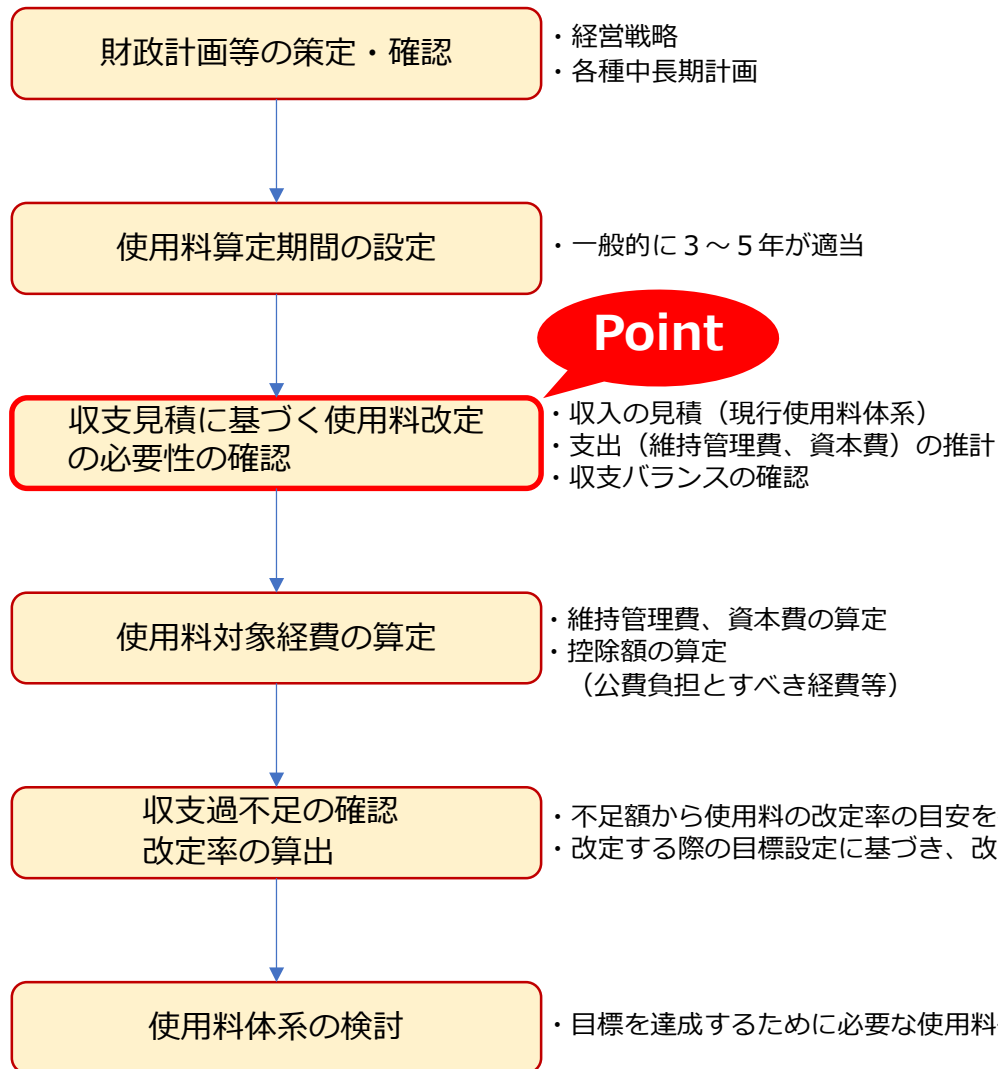
I 業務活動によるキャッシュフロー	+5.4億円
II 投資活動によるキャッシュフロー	△3.9億円
III 財務活動によるキャッシュフロー	△2.5億円
IV 資金増加(減少)額*	△1.0億円
V 資金期首残高	4.4億円
VI 資金期末残高	3.4億円

	業務活動	投資活動	財務活動	概要
パターン①	+ (プラス)	△ (マイナス)	△ (マイナス)	本業の業績は概ね良好であり、有利子負債残高を減少させつつ、建設改良に係る投資も実施しているため、比較的良好な経営状況にあると想定される。

→ 公共下水道事業も、このパターンに該当しています。

使用料算定の基本的考え方

■ 使用料検討の一般的な手順※



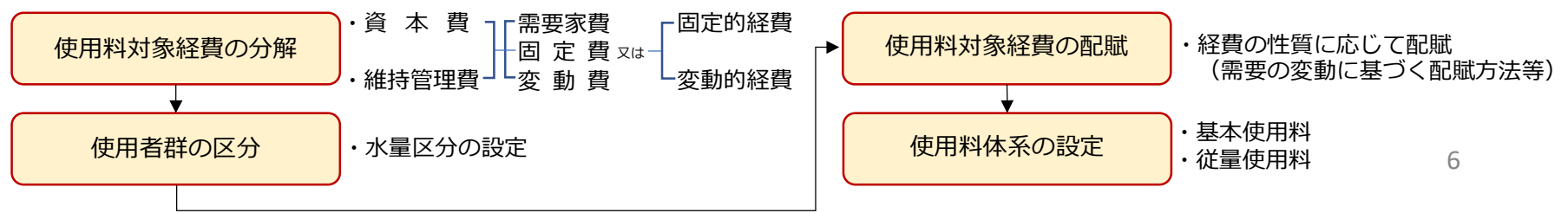
※「下水道使用料算定の基本的考え方（2016年版）」（（公社）日本下水道協会）より作成。
いずれの作業も各地方公共団体の実情に応じて、適宜、合理的な範囲で実態に即した検討を行うことが必要。

下水道使用料の県内比較

■ 料金体系 – 県内9市の下水道使用料体系（月額） –

	従量使用料															【参考】 20m使用時	
	基本使用料	1	5	8	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	150		200
小浜市	1,350	0	160	185	200	210			225						3,872		
福井市	1,050	11		122	138	161	208			222						2,618	
敦賀市	1,370	7		151	180	209	238	269			294						3,245
大野市	1,400	0		150	160			170			180						3,443
勝山市	1,230	0		130	150			170			195						2,783
鯖江市	1,060	0	42	169	182			194			207						3,256
あわら市	1,400	0		135	145			155			165						3,025
越前市	1,100	0		133	162			177			192			206			2,673
坂井市	1,320	0		144	156			180			204						3,036

※各市ホームページを参照。単位はすべて円。 ※基本使用料は、一般汚水用1か月あたりの税抜額。以降は、1m³あたりの従量使用料（税抜）。
 ※20m³使用料時の額は、税込額。 ※大野市は、計測器使用料253円/月（税込）が加算される。
 ※越前市は、今後さらに25%の引き上げ答申（令和8年1月）。勝山市は、今後さらに14%の引き上げ答申（令和8年2月）。
 ※使用料体系の検討に関する一般的な流れは次のとおりです。いずれも各地方公共団体の実情に応じて、適宜、合理的な範囲で実態に即した検討を行うことが必要です。需要家費：使用水量の多少に係わりなく主として利用者数に対応して増減する経費（検針経費等）、固定費：使用水量や利用者数の多少に係わりなく施設規模に応じて固定的に必要な経費（資本費等）、変動費：主として使用水量の多少に応じて変動する経費（薬品費等）。



(参考) 下水道事業会計の概要と状況について

■ 下水道事業会計の現状 (R6決算のセグメント別分析・公共下水)

【図解】 キャッシュ・フロー計算書

- キャッシュ・フロー計算書は、対象年度中の現金の増減とその理由を表す報告書です。
- 損益計算書、貸借対照表からは読み取りにくい、「1年間の現金の流れ」を、「業務活動」「投資活動」「財務活動」の3つに区分して表示することで、資金繰りの状況を明らかにし、経営の健全性や経営悪化などの判断が可能となるものです。

業務活動によるキャッシュ・フロー

外部からの資金調達に頼ることなく、どのくらいの資金を本来の業務活動で獲得したかを表したもので、主に収益的収支の内容を表しています。

→+ (プラス) であることから、業務活動が良好であることがわかります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

固定資産の取得など、将来の利益および資金獲得のための設備投資にどのくらいの資金を支出したか、また、その資金をどのくらい回収したかを表したもので、主に資本的収支の内容を表します。

→△ (マイナス) であることから、積極的に投資を行っていることがわかります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

業務活動や投資活動を維持するために、どのくらいの資金を調達し、また、返済したかを表したもので、主に資本的収支の内容を表します。

→△ (マイナス) であることから、借入残高が減少していることがわかります。

令和6年度 小浜市公共下水道事業キャッシュ・フロー計算書 (間接法)
(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位 円)

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	66,513,465
減価償却費	688,423,729
資産減耗費	0
長期前受金戻入額	△ 296,512,151
支払利息および企業債取扱諸費	133,751,832
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△ 245,771
賞与等引当金の増減額 (△は減少)	220,000
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	761,069
未収金の増減額 (△は増加)	58,438,747
その他流動資産の増減額 (△は減少)	50,000
未払金の増減額 (△は減少)	5,969,343
前受金の増減額 (△は減少)	18,244,213
その他流動負債の増減額 (△は減少)	0
小計	675,614,476
利息の支払額	△ 133,415,665
業務活動によるキャッシュ・フロー	542,198,811

II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 487,806,217
無形固定資産の取得による支出	0
国・県補助金による収入	93,227,753
受益者負担金による収入	8,504,212
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 386,074,252

III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
企業債 (※1) の発行による収入	480,900,000
企業債 (※2) の償還による支出	△ 939,636,928
リース債務の返済による支出	△ 305,267
出資金による収入	204,015,787
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 255,026,408

IV 資金増加(減少)額	△ 98,901,849
V 資金期首残高	447,245,520
VI 資金期末残高	348,343,671

貸借対照表 (B/S) 現金預金と一致

※1 建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入

※2 建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出

第3回

小浜市水道料金等制度審議会 (下水道使用料制度)

日時 令和8年3月17日(火)午後7時30分～
場所 小浜市役所 4階 大会議室

議事等

令和6年度に改定した経営戦略での下記内容の確認※

1. 使用料収入の見通し、投資計画等
2. 収支等の見通し

※経営戦略の改定を行った令和7年1月時点の実績や見通し等を表示しています。

小浜市下水道事業会計の概要と状況について

■ 収支全体の見通し

公共下水道事業の今後10年間の収支見通しは、一般会計との取り決めに基づく繰入金の計上を前提に、

- 経常収支が黒字
- 経費回収率（維持管理費）100%以上
- 資金残高を一定金額（1億円以上）確保
- 起債残高が減少傾向

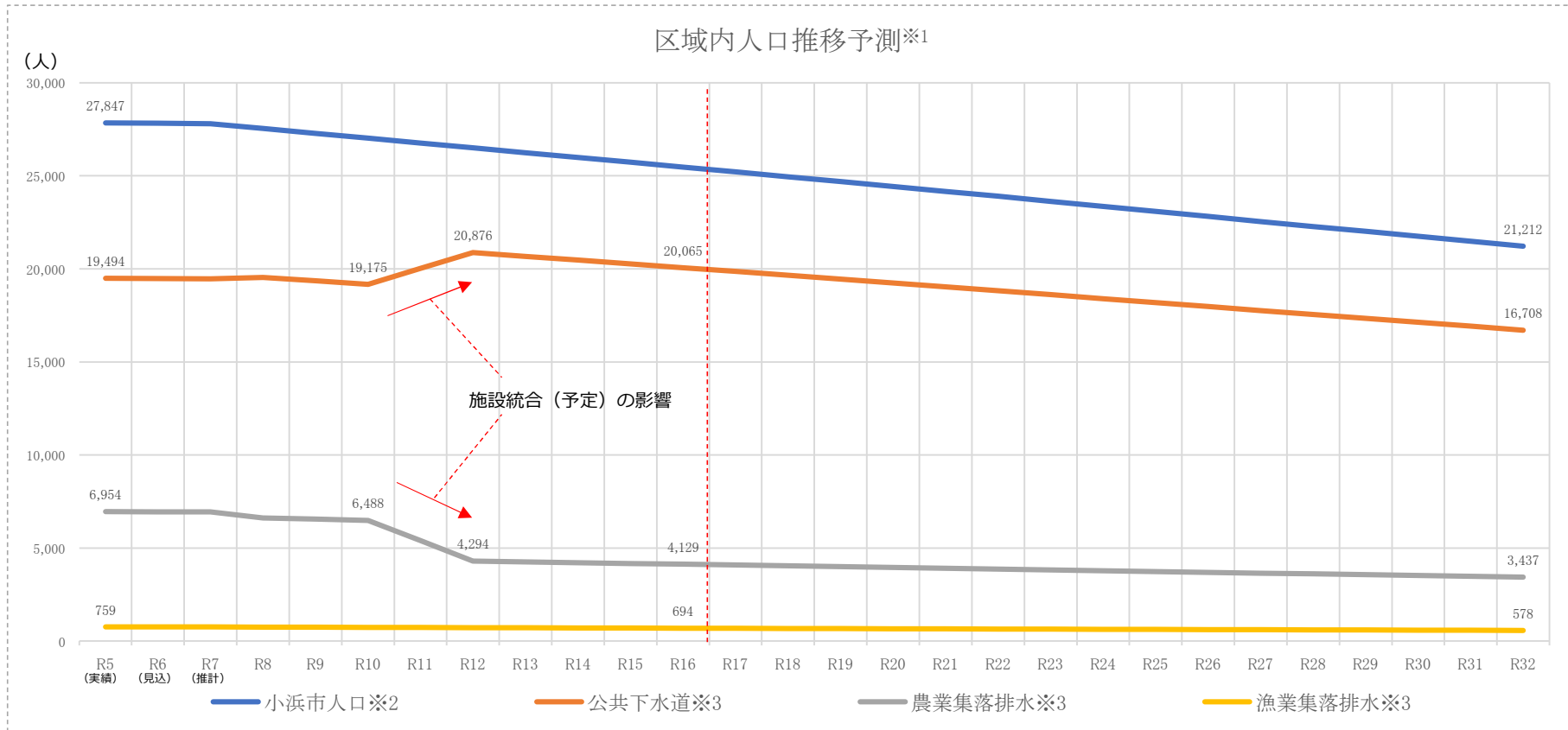
➔ **支出に対して必要な収入は確保できる見込み**です。

小浜市下水道事業会計の概要と状況について

■ 将来人口の見通し

今後も人口が減少する見込みです。

（農業集落排水区域の甲ヶ崎、松永、国富について公共下水道への統合が予定されていることから、区域内人口が農業集落排水で減少し、公共下水道で増加する年度があります。



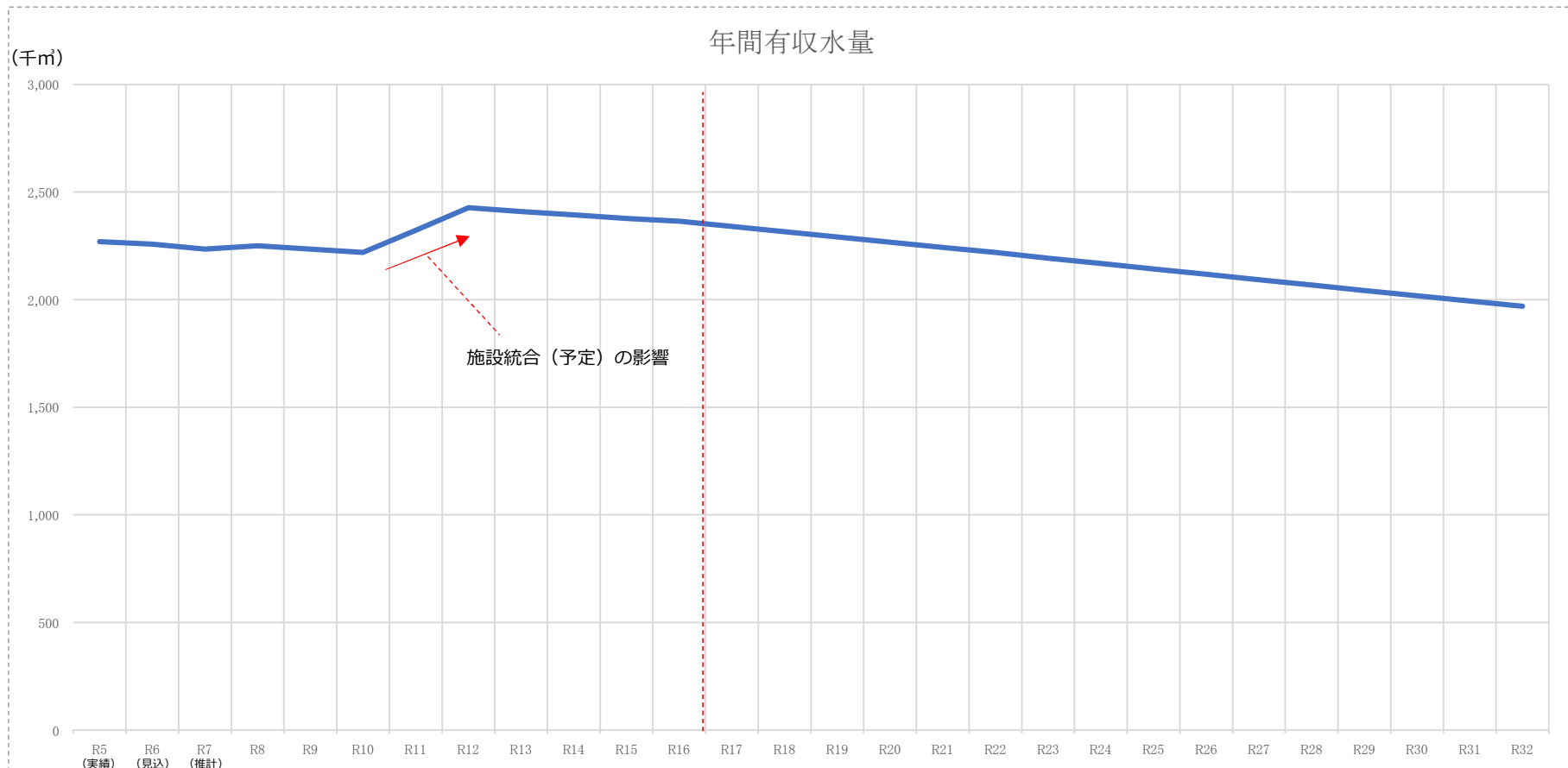
※1：実績値については年度末の値、予測値については12月1日時点の値。

※2：小浜市人口は、令和5年までは住民基本台帳の実績値、令和6年以降は、国立社会保障・人口問題研究所が算出した予測値（ただし、令和2,7,12,17,22,27,32年のみの公表であり、それ以外は前後の傾向から推計。）

※3：公共下水道、農業集落排水、漁業集落排水の人口は、令和5年までは事業別地区別の実績値、令和6年以降は、国立社会保障・人口問題研究所が算出した今後の予測値に令和5年の地区別の人口割合で推計した値（ただし、令和2,7,12,17,22,27,32年のみの公表であり、それ以外は前後の傾向から推計。）

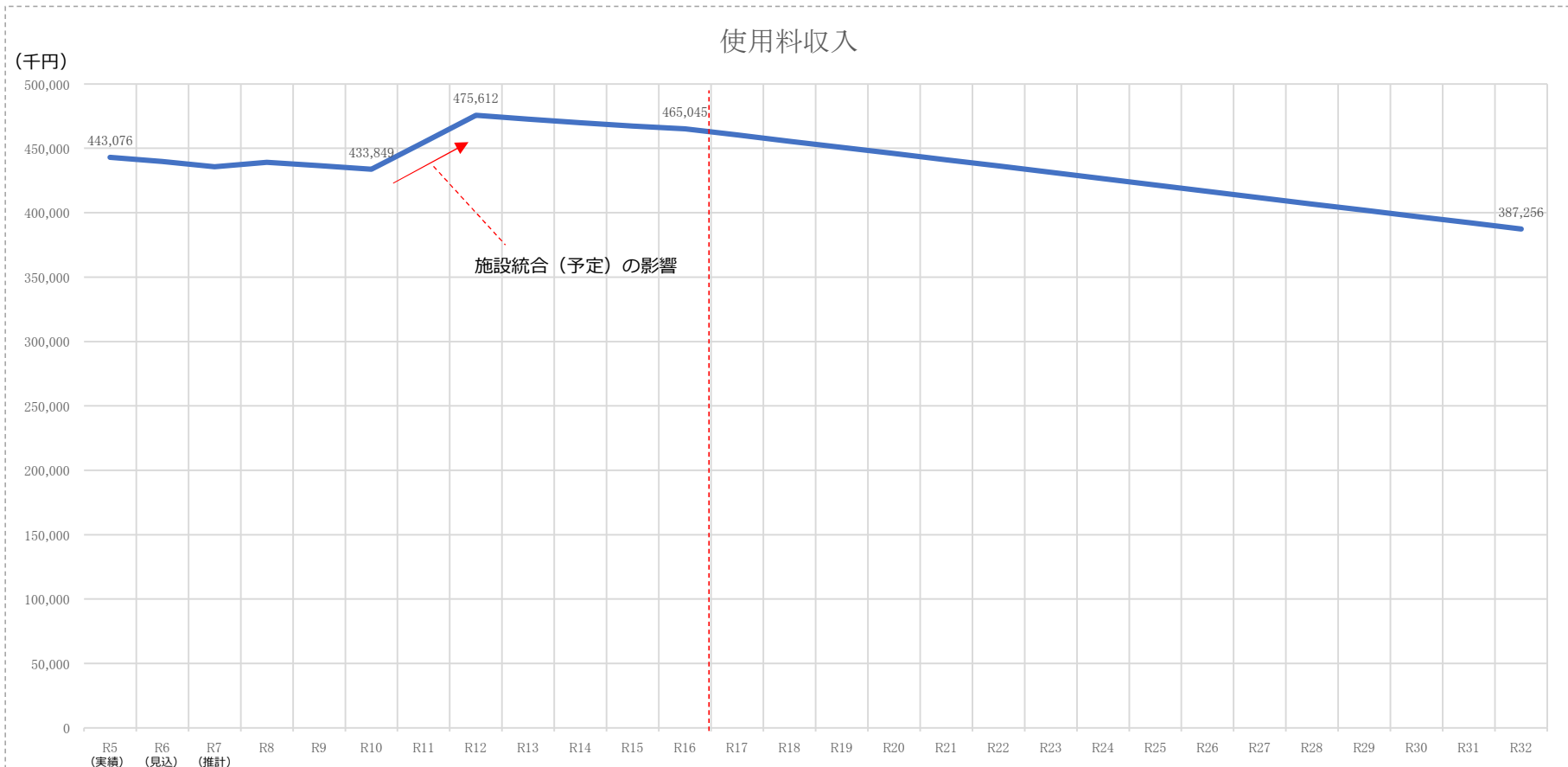
■ 有収水量の見通し

農業集落排水区域内の3地区について公共下水道への統合を予定していることから、一旦増加する年度がありますが、その後は減少する見込みです。



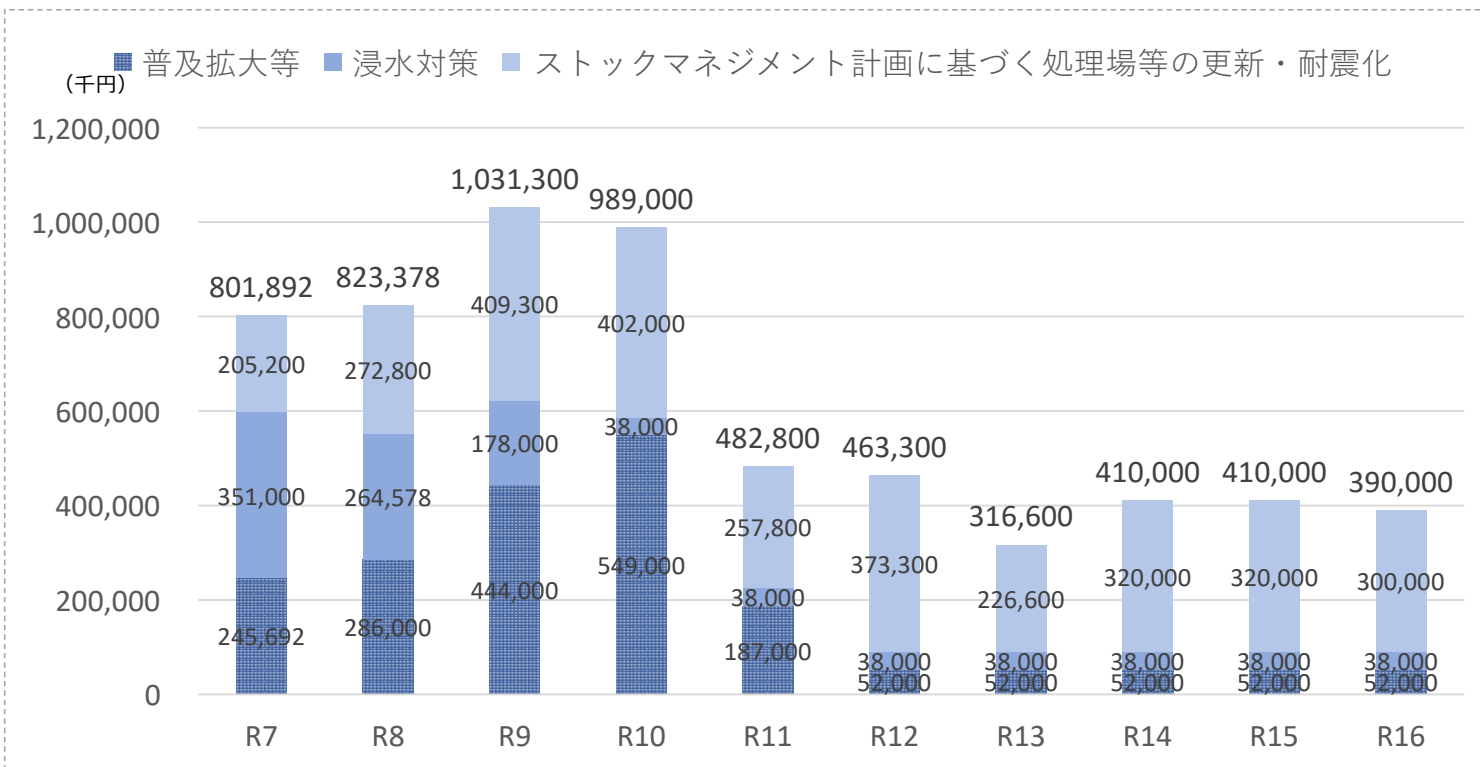
■ 使用料収入の見通し

人口減少に伴う区域内人口の減少の要因と、農業集落排水施設の統合による区域内人口の増加の要因により、一旦増加する年度がありますが、その後は減少する見込みです。



小浜市下水道事業会計の概要と状況について

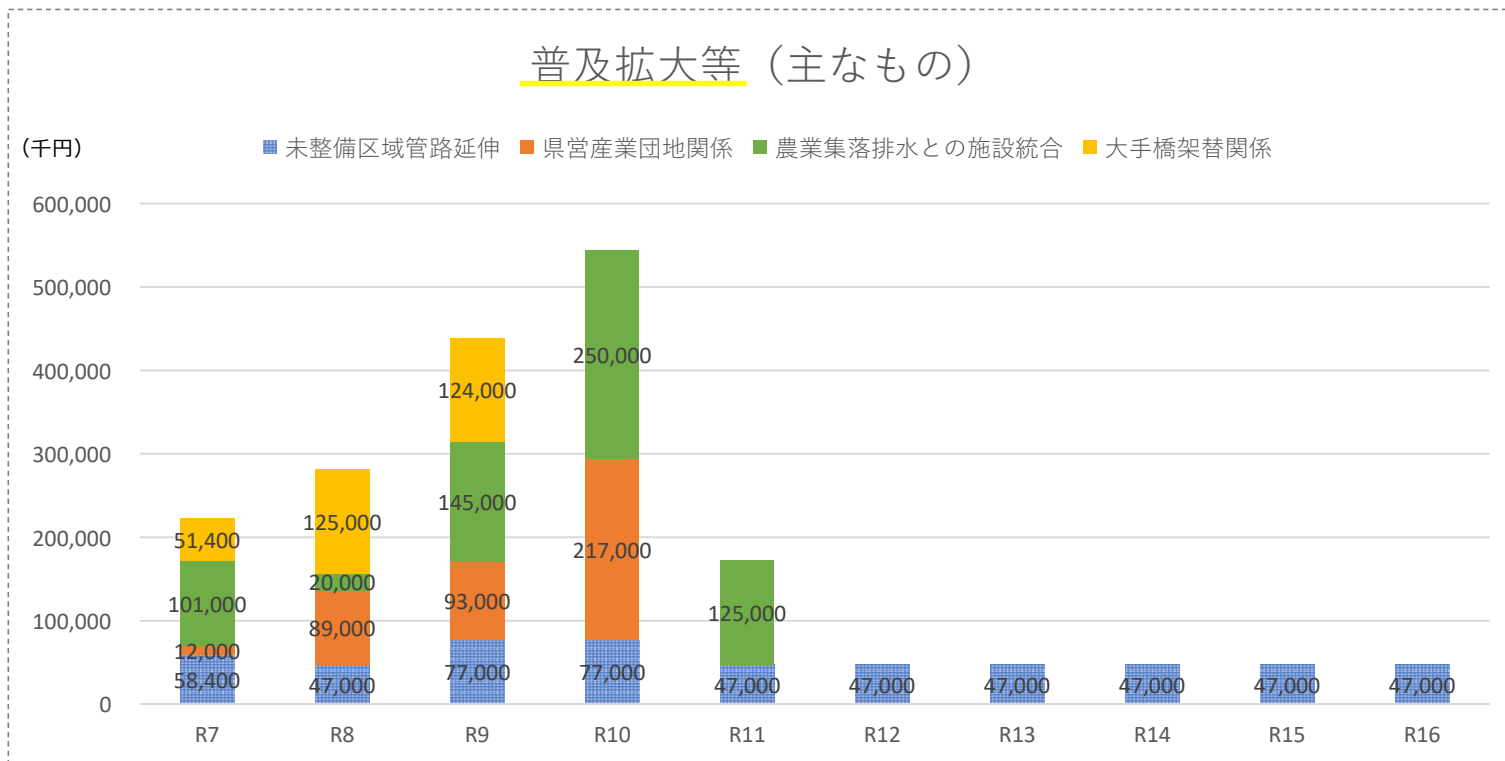
■ 今後の投資計画※（全体）



投資計画	概要
普及拡大等	未整備区域の管路延伸のほか、県営産業団地整備、農業集落排水との施設統合、大手橋の架け替えに伴う管路整備
浸水対策	内水氾濫による家屋等への浸水被害低減のため、竹原雨水渠の改修、水取ポンプ場および雨水渠の整備・改修
ストックマネジメント計画に基づく処理場等の更新・耐震化	小浜浄化センターおよび北部・東部中継ポンプ場でストックマネジメント計画に基づく更新・耐震化

小浜市下水道事業会計の概要と状況について

■ 今後の投資計画※（主なもの①）

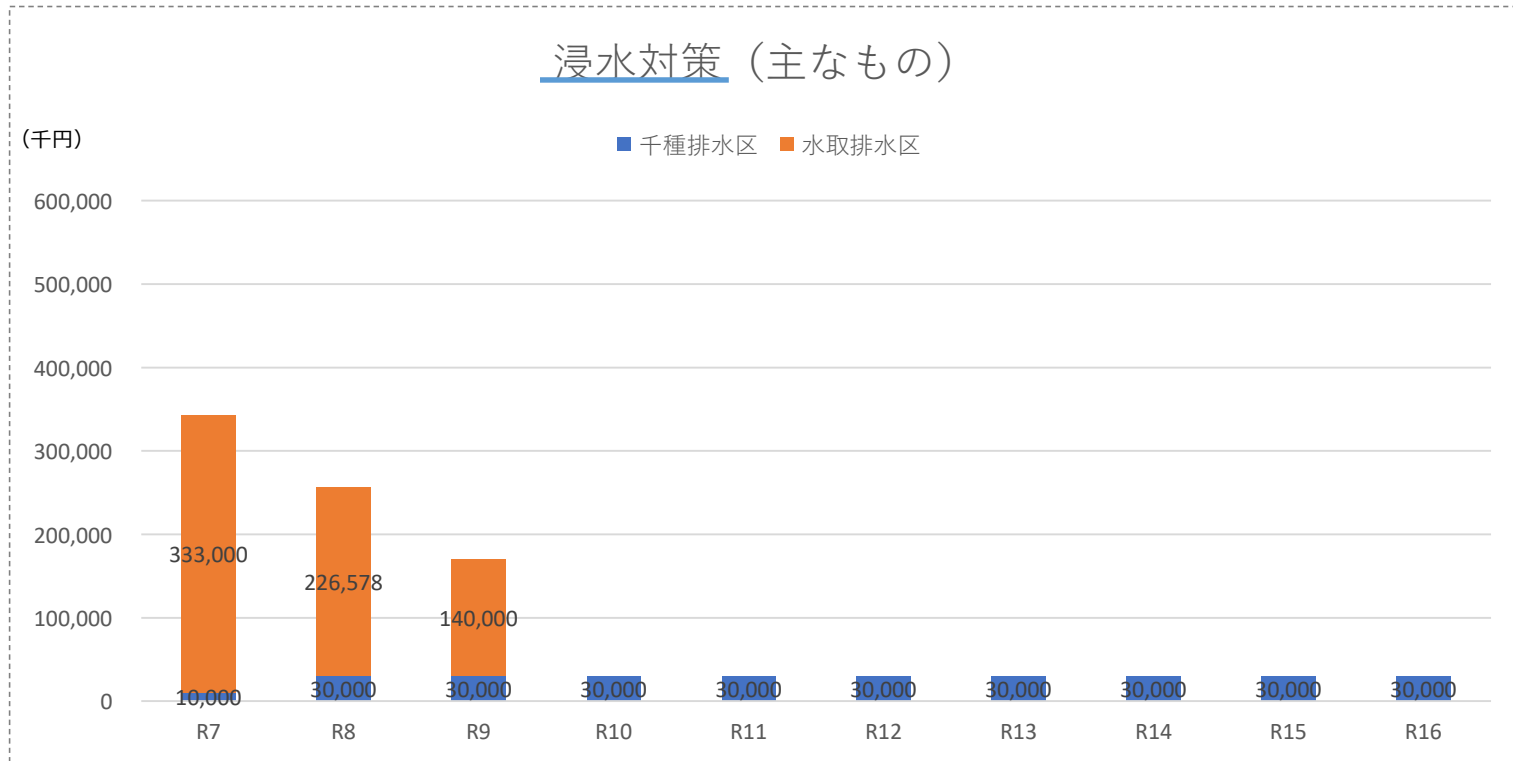


	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
未整備区域管路延伸	公共下水道区域									
県営産業団地関係	平野地係									
農業集落排水との施設統合	甲ヶ崎、松永、国富									
大手橋架替関係	大手橋									

※令和7年1月時点

小浜市下水道事業会計の概要と状況について

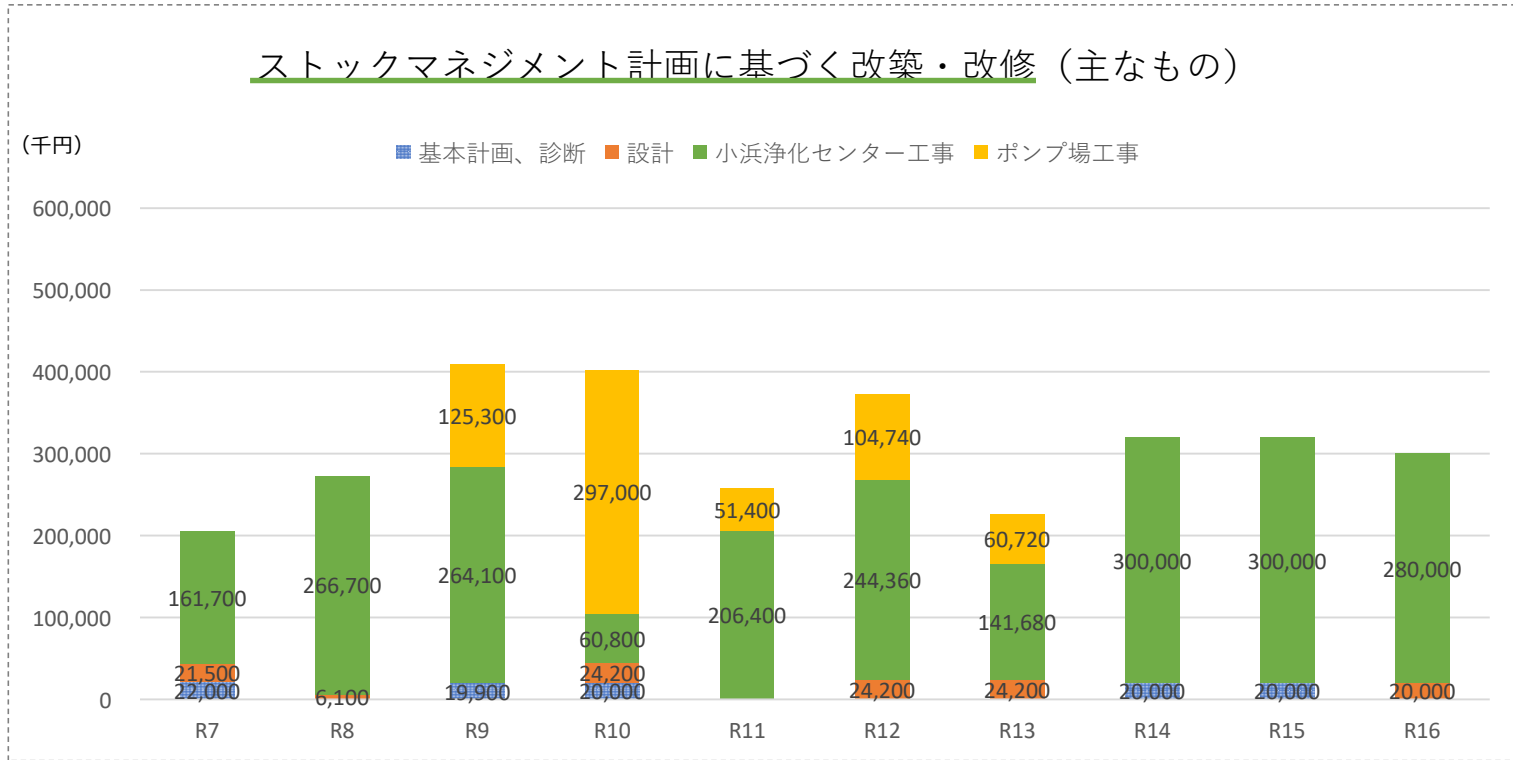
■ 今後の投資計画※（主なもの②）



	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
千種排水区	千種地係 他									
水取排水区	水取地係									

小浜市下水道事業会計の概要と状況について

■ 今後の投資計画※（主なもの③）



	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
基本計画、診断	耐震診断		計画見直し					計画見直し		
設計（小浜浄化センター、ポンプ場）										
小浜浄化センター工事										
ポンプ場工事										

※令和7年1月時点

小浜市下水道事業会計の概要と状況について

■ 今後の収支見通しにおける投資計画以外の検討条件

財源の考え方

- 下水道事業は、「独立採算制」と「受益者負担」の経営原則に基づき、一般会計との間に適正な経費負担区分を前提に健全経営の継続が必要です。
- 経費の負担は、雨水処理に要する経費は公費（租税）、汚水処理に要する経費は下水道利用者からの私費（使用料）となります。ただし、汚水処理に関しては、一般会計との一定の負担区分に基づく繰り入れの対象です。
- 下水道整備は先行投資が多額となる事業であり、世代間で負担に差が生じることから、資本費平準化債※により負担の一部を後年度に繰り延べるのが可能です。
- 整備財源については国庫・県補助金の活用や、事業効果が長期にわたることから企業債の発行により賄います。

※企業債の元金償還期間が下水道施設の減価償却期間より短いため、減価償却費に比べて元金償還額が大きくなることにより生じる資金不足を補うため、その資金のために借り入れる企業債。

→施設の使用期間内の特定の時期に負担が集中しないよう均一にするために、過去に借り入れた企業債の返済に充てる企業債です。

(参考) 資本費平準化債とは

概要

企業会計移行後の下水道事業について、使用料水準は資本費（減価償却費＋利息等）を考慮して検討するが、建設債の元金償還期限（最長40年）と下水道施設の減価償却期間（最長50年）が異なっていることから、元金償還金と減価償却費との差について、構造的に資金不足が生じるという課題がある。

すなわち、減価償却費を使用料で賄うことができたとしても、償還額の方が大きいため、資金不足が生じる。当該資金不足を解消すること、および下水道施設整備に係る世代間負担の公平性を図ることを目的として措置された地方債が、資本費平準化債である。

例：建設改良費6,000万円（耐用年数50年、H30に支出、財源は全額を起債（償還年数30年）で賄う場合）

- ・年間償還額：200万円（＝6,000万円÷30年→R1～R30年で発生）
- ・年間減価償却額：120万円（＝6,000万円÷50年→R1～R50年で発生）

年間不足額
80万円

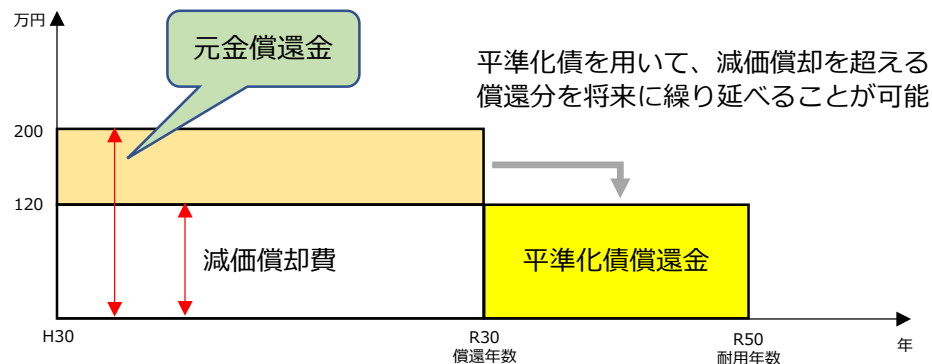
年間償還額
200万円

年間減価
償却額
120万円

R1～R30年で年間80
万円（計2,400万円）
の不足額が生じる。

〈資本費平準化債〉

不足額についてR1～R30年で新たに借入れを行い、R31～R50年に返済を行うことが可能。
下水道施設はR31年以降も使用されることから、将来世代への負担の繰り延べ（平準化）を図る。

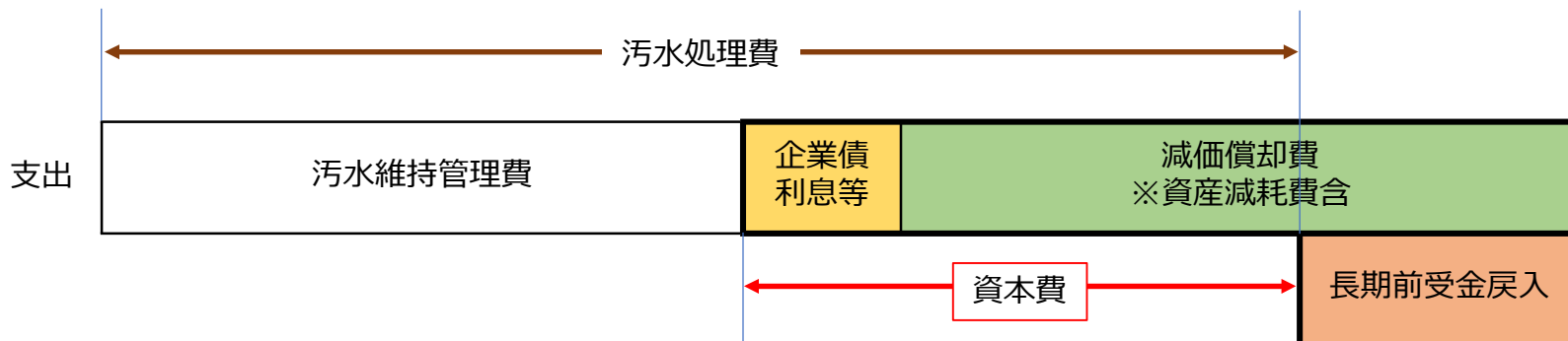


(参考) 資本費について

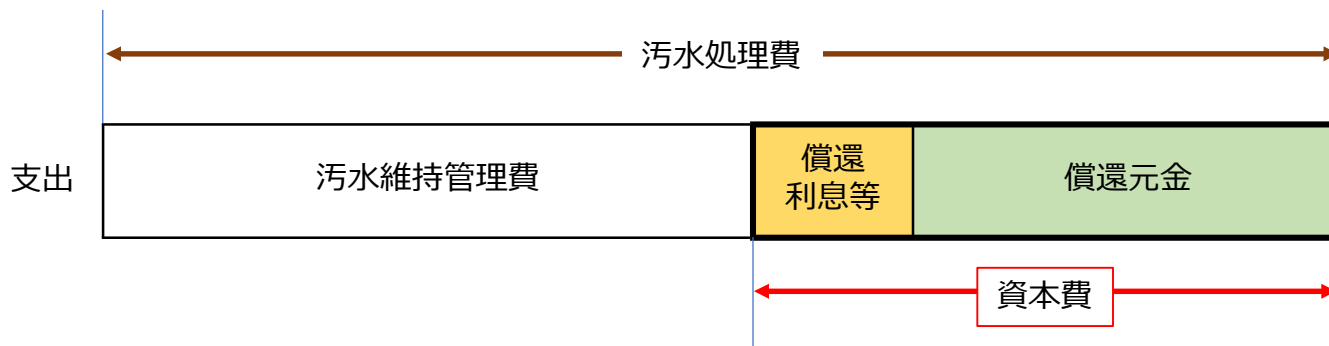
汚水処理費に係る資本費

- 企業会計：減価償却費（ただし長期前受金戻入を控除）および償還利息等
- 一般会計：元利償還金等

<企業会計>



<一般会計>



小浜市下水道事業会計の概要と状況について

■ 今後の収支見通しにおける投資計画以外の検討条件

		区分		
収益的収支	収益的収入	営業収入	料金収入	国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」で示されている小浜市の人口推移、今後の水洗化率の見込、過去の使用料収入実績、有収水量見込を用いて計上しています。
			その他	主に一般会計からの雨水処理負担金です。財政部局との取り決めに基づき計上しています。
		営業外収入	他会計補助金	一般会計からの補助金です。財政部局との取り決めに基づき計上しています。
			その他補助金	主に国管理河川での作業受託費です。決算値を参考に計上しています。
			長期前受金戻入	減価償却に合わせて、前年度までの資産取得で受領した補助金の額や今後の取得資産で受領する見込みの補助金額を算定し収益化する額としています。
			その他	その他営業収益、雑収益等です。決算値を参考に計上しています。
	収益的支出	営業費用	職員給与費	令和7年度は予算額を基に決算見込み額としています。 令和8年度は過去の実績を基に上昇率※1を考慮して計上しています。 令和9年度以降は前年度値に上昇率※1を考慮して計上しています。
			経費	令和7年度は予算額を基に決算見込み額としています。 令和8年度は過去の実績を基に上昇率※2を考慮して計上しています。 令和9年度以降は前年度値に上昇率※2を考慮して計上しています。 また、流入水量の変動に伴い増減が見込まれることから、上記の料金収入算定で用いた有収水量の増減率を反映しています。
			減価償却費	取得資産および今後の取得見込資産で費用化する額を計上しています。資産減耗費を含めています。
		営業外費用	支払利息	借り入れた企業債の支払利息と、今後借入予定の企業債の利息を合算し計上しています。 今後借入予定の企業債利息は次項の企業債借入条件をもとに計上しています。
			その他	その他営業費用、雑支出等です。決算値を参考に計上しています。

※1:令和7年度以降の上昇率は経済・物価情勢の展望（日本銀行 2024年10月）の消費者物価指数の値。

令和7年度：1.9%、令和8年度：1.9%、令和9年度以降は値がないため1.9%で計上。

※2:経済・物価情勢の展望（日本銀行 2024年10月）の消費者物価指数の値。

令和7年度：1.9%、令和8年度：1.9%、令和9年度以降は値がないため1.9%で計上。

小浜市下水道事業会計の概要と状況について

■ 今後の収支見通しにおける投資計画以外の検討条件

区分			
資本的収支	資本的収入	国（県）補助金	投資計画に基づく補助率により計上しています。
		企業債	<p>(建設債) 投資計画に基づき計上しています。借入条件は元利均等償還、半年賦、全期間固定、据置期間3年、償還期間20年、利率1.8%※³とします。</p> <p>(資本費平準化債) 資金の状況に基づき借入額を計上しています。借入条件は元利均等償還、半年賦、全期間固定、据置期間3年、償還期間20年、利率1.8%※³とします。</p>
		他会計出資金	一般会計からの出資金です。財政部局との取り決めに基づき計上しています。
		国（県）補助金	投資計画に基づく補助率により計上しています。
		その他	受益者負担金や短期貸付金収入等です。決算値を参考に計上しています。
	資本的支出	建設改良費	投資計画に基づき計上しています。
		企業債償還金	借り入れた企業債の元金償還と、今後借入予定の企業債の元金償還金を合算し計上しています。
		その他	短期貸付金等です。決算値を参考に計上しています。

※3: 令和6年11月1日適用の財政融資資金金利（元利均等償還、半年賦、全期間固定、据置期間5年以内、貸付期間30年以内）の値1.8%を参考。

小浜市下水道事業会計の概要と状況について

収益的収支等の見通し

(単位千円)

	R7 (予算)	R8 (推計)	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
収益的収入	1,176,091	1,211,684	1,218,766	1,239,337	1,323,572	1,403,332	1,413,695	1,410,686	1,409,678	1,421,837
営業収入	516,534	531,315	536,334	545,436	566,528	587,022	582,769	573,128	557,558	554,311
料金収入	435,735	439,215	436,612	433,849	454,555	475,612	472,746	469,944	467,394	465,045
その他	80,799	92,100	99,722	111,587	111,973	111,410	110,023	103,184	90,164	89,266
営業外収入	659,557	680,369	682,432	693,901	757,044	816,310	830,926	837,558	852,120	867,526
他会計補助金	358,628	362,865	358,054	358,886	387,171	413,103	419,095	421,523	427,863	434,809
その他補助金	527	537	547	558	568	579	590	601	613	624
長期前受金戻入	298,788	315,353	322,217	332,843	367,691	401,014	409,627	413,820	422,030	430,478
その他	1,614	1,614	1,614	1,614	1,614	1,614	1,614	1,614	1,614	1,614
収益的支出	1,160,067	1,184,723	1,199,751	1,222,875	1,308,580	1,391,116	1,399,388	1,398,968	1,407,409	1,416,925
営業費用	1,017,883	1,043,800	1,062,629	1,083,217	1,167,392	1,253,806	1,265,976	1,270,772	1,283,633	1,297,095
職員給与費	34,855	35,125	35,792	36,472	37,166	37,871	38,590	39,323	40,070	40,830
経費	278,842	274,653	284,140	288,152	307,340	333,566	331,251	335,215	345,598	343,772
減価償却費	704,186	734,022	742,697	758,593	822,886	882,369	896,135	896,234	897,965	912,493
営業外費用	142,184	140,923	137,122	139,658	141,188	137,310	133,412	128,196	123,776	119,830
支払利息	134,770	133,509	133,908	136,444	137,974	134,096	130,198	124,982	120,562	116,616
その他	7,414	7,414	3,214	3,214	3,214	3,214	3,214	3,214	3,214	3,214
収支の差額	16,024	26,961	19,015	16,462	14,992	12,216	14,307	11,718	2,269	4,912
特別損益	△ 155	△ 155	△ 155	△ 155	△ 155	△ 155	△ 155	△ 155	△ 155	△ 155
特別利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別損失	155	155	155	155	155	155	155	155	155	155
当期純利益	15,869	26,806	18,860	16,307	14,837	12,061	14,152	11,563	2,114	4,757
繰越利益剰余金 または繰越欠損金	△ 241,106	△ 214,300	△ 195,440	△ 179,133	△ 164,296	△ 152,235	△ 138,083	△ 126,520	△ 124,406	△ 119,649

小浜市下水道事業会計の概要と状況について

■ 収益的収支等の見通し

(単位千円)

	R7 (予算)	R8 (推計)	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
収益的収入	1,176,091	1,211,684	1,218,766	1,239,337	1,323,572	1,403,332	1,413,695	1,410,686	1,409,678	1,421,837
営業収入	516,534	531,315	536,334	545,436	566,528	587,022	582,769	573,128	557,558	554,311
料金収入	435,735	439,215	436,612	433,849	454,555	475,612	472,746	469,944	467,394	465,045
その他	80,799	92,100	99,722	111,587	111,973	111,410	110,023	103,184	90,164	89,266
営業外収入	659,557	680,369	682,432	693,901	757,044	816,310	830,926	837,558	852,120	867,526
他会計補助金	358,628	362,865	358,054	358,886	387,171	413,103	419,095	421,523	427,863	434,809
その他補助金	527	537	547	558	568	579	590	601	613	624
長期前受金戻入	298,788	315,353	322,217	332,843	367,691	401,014	409,627	413,820	422,030	430,478
その他	1,614	1,614	1,614	1,614	1,614	1,614	1,614	1,614	1,614	1,614
収益的支出	1,160,067	1,184,723	1,184,723	1,184,723	1,184,723	1,184,723	1,184,723	1,184,723	1,184,723	1,184,723
営業費用	1,017,883	1,043,800	1,043,800	1,043,800	1,043,800	1,043,800	1,043,800	1,043,800	1,043,800	1,043,800
職員給与費	34,855	35,125	35,125	35,125	35,125	35,125	35,125	35,125	35,125	35,125
経費	278,842	274,653	274,653	274,653	274,653	274,653	274,653	274,653	274,653	274,653
減価償却費	704,186	734,022	734,022	734,022	734,022	734,022	734,022	734,022	734,022	734,022
営業外費用	141,924	140,923	137,122	139,658	141,188	137,310	133,412	128,196	123,776	119,830
特別損失	0	133,509	133,908	136,444	137,974	134,096	130,198	124,982	120,562	116,616
特別損失	0	7,414	3,214	3,214	3,214	3,214	3,214	3,214	3,214	3,214
特別損失	0	26,961	19,015	16,462	14,992	12,216	14,307	11,718	2,269	4,912
特別損失	0	△ 155	△ 155	△ 155	△ 155	△ 155	△ 155	△ 155	△ 155	△ 155
特別損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別損失	155	155	155	155	155	155	155	155	155	155
当期純利益	15,869	26,806	18,860	16,307	14,837	12,061	14,152	11,563	2,114	4,757
繰越利益剰余金 または繰越欠損金	△ 241,106	△ 214,300	△ 195,440	△ 179,133	△ 164,296	△ 152,235	△ 138,083	△ 126,520	△ 124,406	△ 119,649

単年で汚水を処理するために
必要な費用と収益

収入ー支出

マイナスでない
(当期純利益)

小浜市下水道事業会計の概要と状況について

■ 資本的収支等の見通し

(単位千円)

	R7 (予算)	R8 (推計)	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
資本的収入	1,371,331	1,299,737	1,483,178	1,409,237	877,603	826,137	645,579	702,109	714,054	685,648
国(県)補助金	338,500	332,524	421,855	452,540	221,720	213,868	135,384	187,000	187,000	177,000
企業債	788,800	745,800	847,350	764,300	480,650	467,900	391,400	419,100	433,100	434,300
他会計出資金	236,058	213,440	206,000	184,424	167,579	137,018	111,732	89,220	87,425	68,066
その他	7,973	7,973	7,973	7,973	7,654	7,351	7,063	6,789	6,529	6,282
資本的支出	1,751,124	1,757,648	1,946,571	1,860,388	1,354,040	1,303,258	1,153,942	1,207,180	1,201,135	1,141,501
建設改良費	801,892	823,378	1,031,300	989,000	482,800	463,300	316,600	410,000	410,000	390,000
企業債償還金	945,815	930,853	911,854	867,971	867,823	836,541	833,925	793,763	787,718	748,084
その他	3,417	3,417	3,417	3,417	3,417	3,417	3,417	3,417	3,417	3,417
収支の差額	△379,793	△457,911	△463,393	△451,151	△476,437	△477,121	△508,363	△505,071	△487,081	△455,853
補てん財源充当額	379,793	457,911	463,393	451,151	476,437	477,121	508,363	505,071	487,081	455,853
不足額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
企業債残高	9,654,746	9,469,693	9,405,189	9,301,518	8,914,345	8,545,704	8,103,179	7,728,516	7,373,898	7,060,114

(単位千円)

他会計繰入金	674,990	667,910	663,281	654,402	666,228	661,036	640,355	613,432	604,957	591,647
収益的収支分	438,932	454,470	457,281	469,978	498,649	524,018	528,623	524,212	517,532	523,581
資本的収支分	236,058	213,440	206,000	184,424	167,579	137,018	111,732	89,220	87,425	68,066

小浜市下水道事業会計の概要と状況について

■ 資本的収支等の見通し

(単位千円)

	R7 (予算)	R8 (推計)	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
資本的収入	1,371,331	1,299,737	1,483,178	1,409,237	877,603	826,137	645,579	702,109	714,054	685,648
国(県)補助金	338,500	332,524	421,855	452,540	221,720	213,868	135,384	187,000	187,000	177,000
企業債	788,800	745,800	847,350	764,300	480,650	467,900	391,400	419,100	433,100	434,300
他会計出資金	236,058	213,440	206,000	184,424	167,579	137,018	111,732	89,220	87,425	68,066
その他									6,529	6,282
資本的支出									1,201,135	1,141,501
建設改良									410,000	390,000
企業債償			911,854	867,971	867,823	836,541	833,925	793,763	787,718	748,084
その他			3,417	3,417	3,417	3,417	3,417	3,417	3,417	3,417
収支の差額	△379,793	△457,911	△463,393	△451,151	△476,437	△477,121	△508,363	△505,071	△487,081	△455,853
補てん財源充当額	379,793	457,911	463,393	451,151	476,437	477,121	508,363	505,071	487,081	455,853
不足額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
企業債残高	9,654,746	9,469,693	9,405,189	9,301,518	8,914,345	8,545,704	8,103,179	7,728,516	7,373,898	7,060,114

収入ー支出
資金が不足しない
(補てん財源が不足しない)

複数年使用する施設を整備する
ために必要な費用と財源

収支に基づく
一般会計からの繰入金

(単位千円)

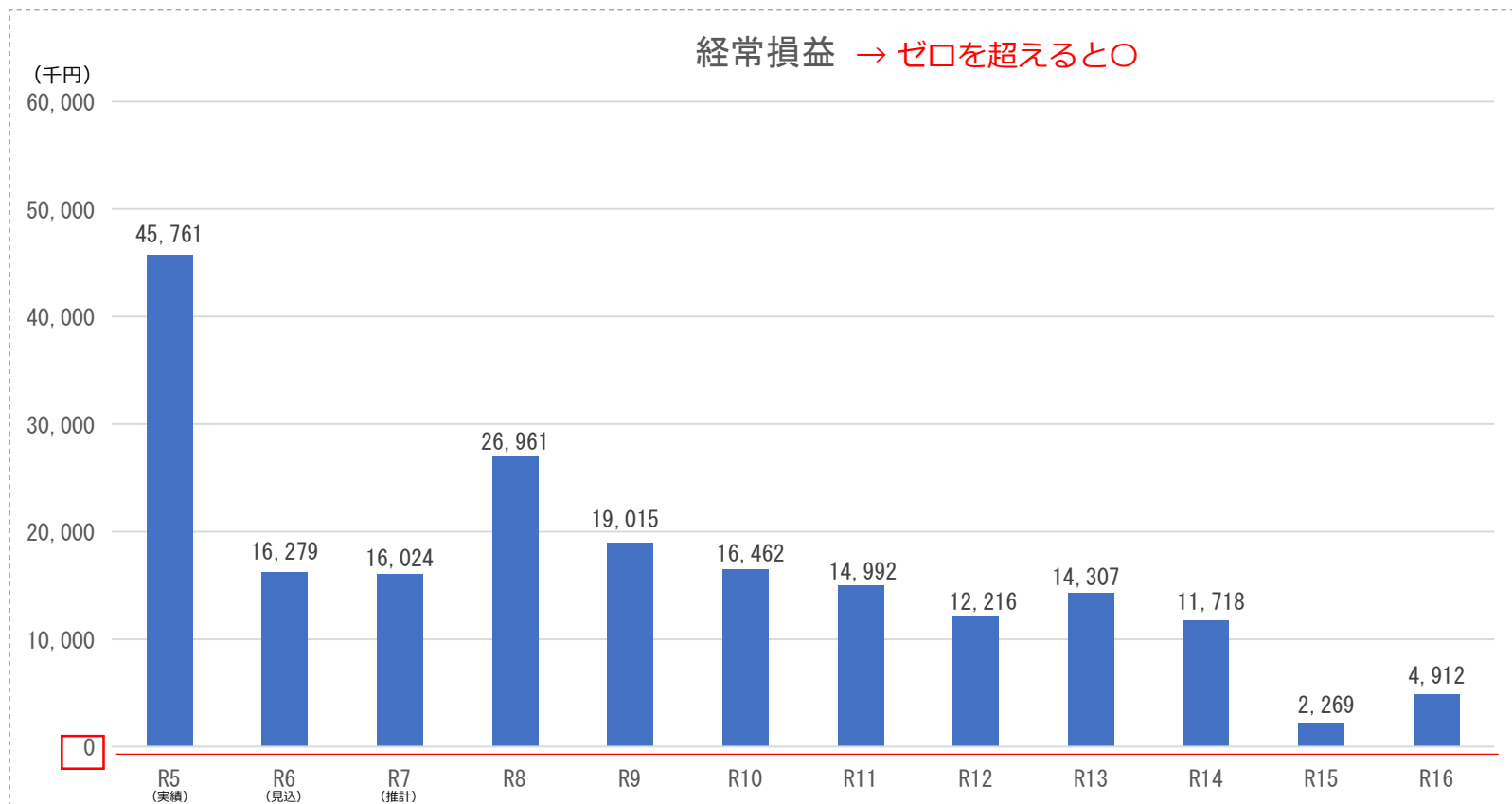
他会計繰入金	674,990	667,910							604,957	591,647
収益的収支分	438,932	454,470							517,532	523,581
資本的収支分	236,058	213,440							87,425	68,066

小浜市下水道事業会計の概要と状況について

■ 経常損益の見通し

$$\text{経常損益} = \text{収益的収入} - \text{収益的支出}$$

経常損益は黒字となり、使用料や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理経費や支払利息等の費用を賄える見通しです。

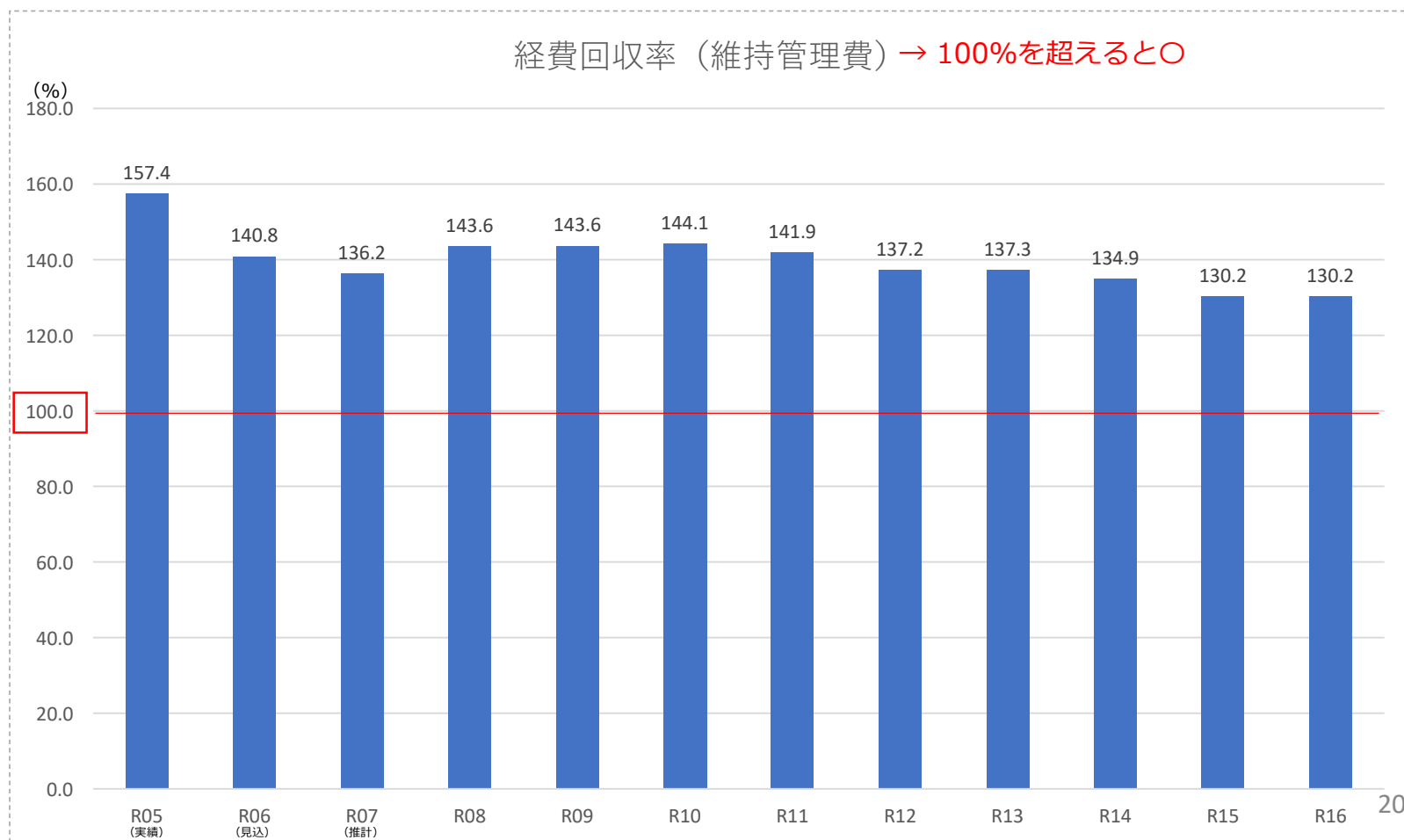


小浜市下水道事業会計の概要と状況について

■ 使用料収入と維持管理費の見通し

$$\text{経費回収率（維持管理費）} = \text{下水道使用料} \div \text{汚水維持管理費（公費負担分除く）}$$

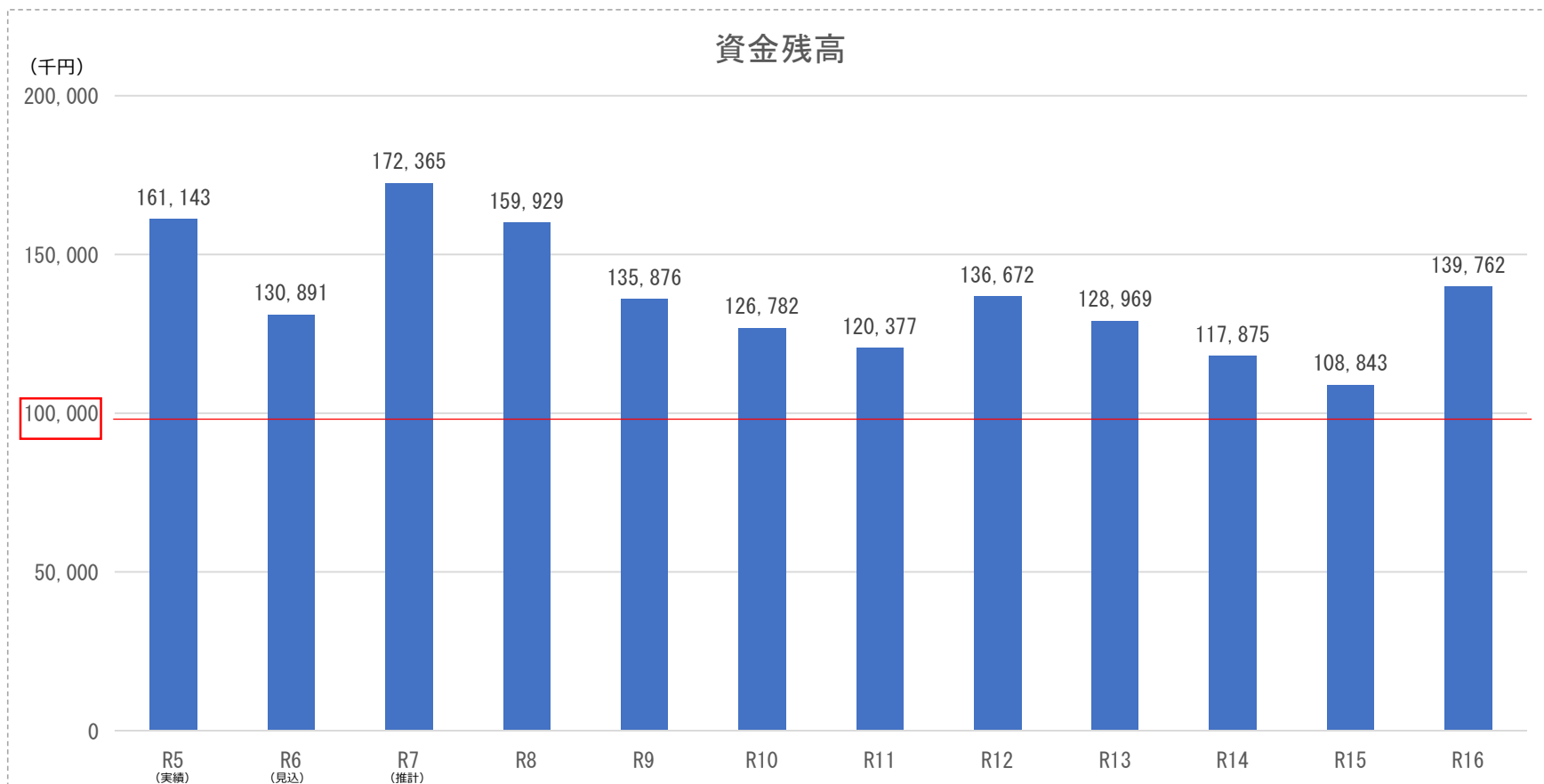
経費回収率（維持管理費）は100%を超え、汚水維持管理費を使用料で賄える見込みです。



小浜市下水道事業会計の概要と状況について

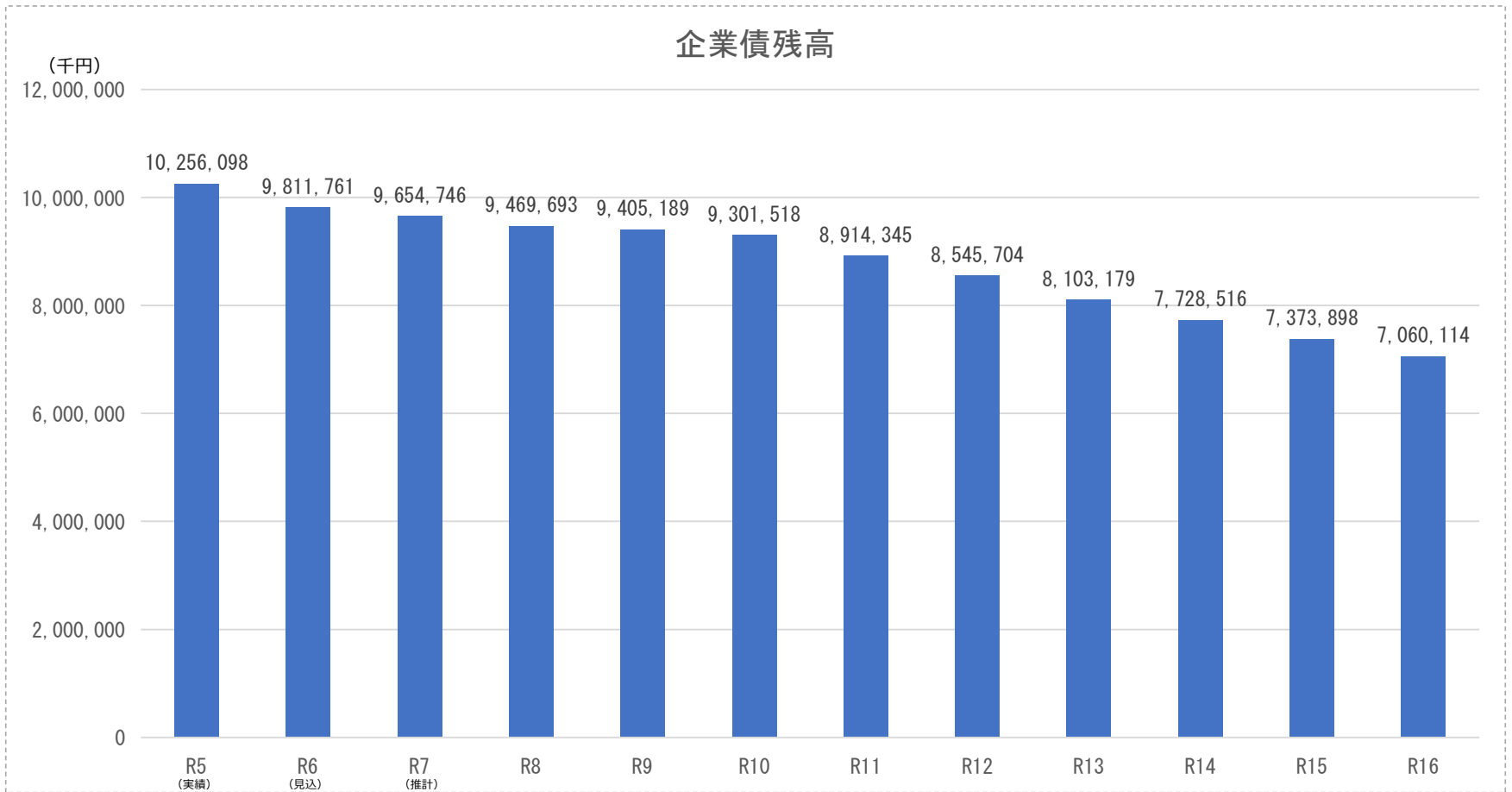
■ 資金残高の見通し

資金残高は一定金額（使用料収入の2か月分以上として1億円以上）を確保できる見込み。



■ 企業債残高の見通し

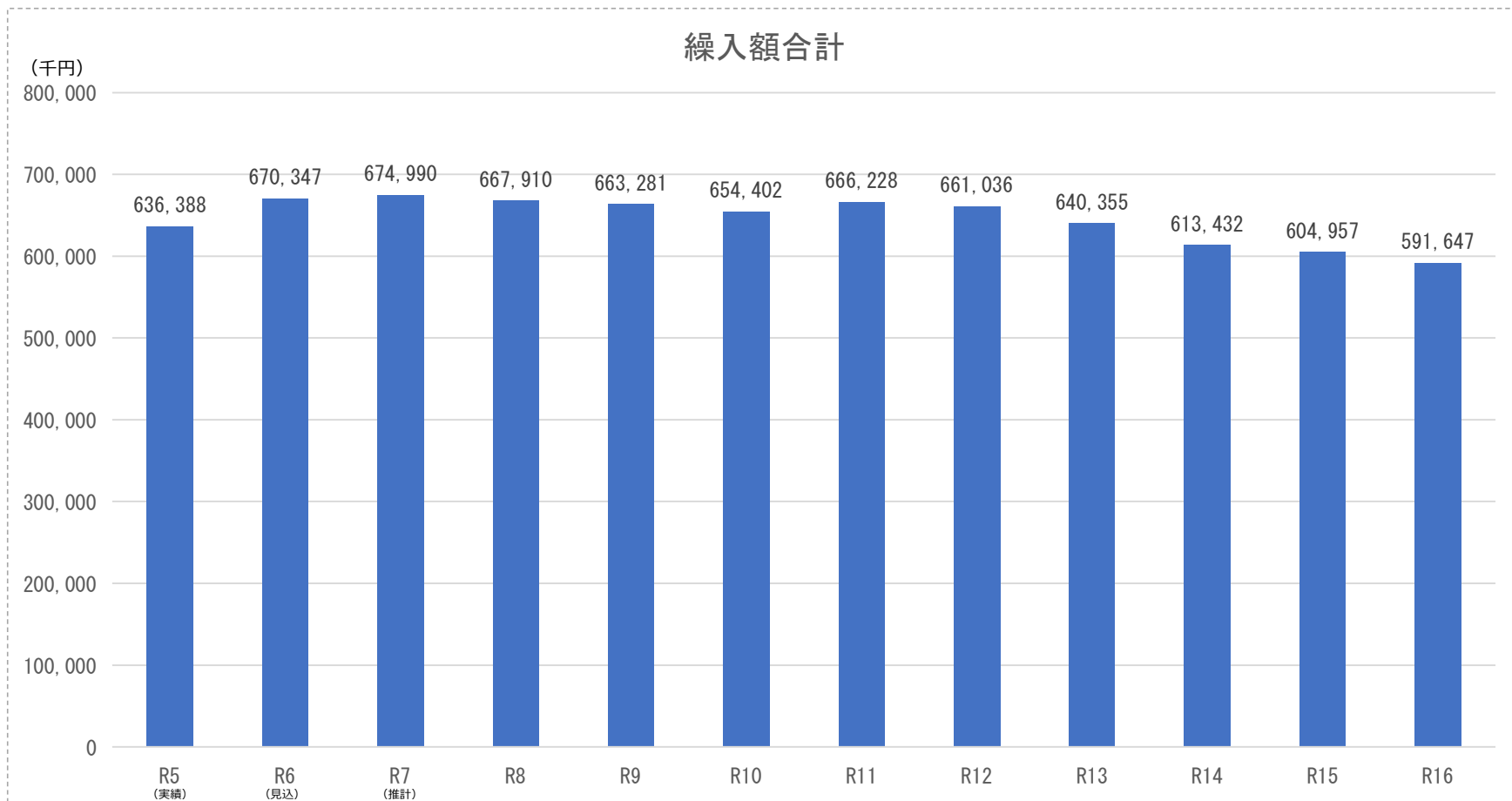
起債残高は減少傾向の見込み。



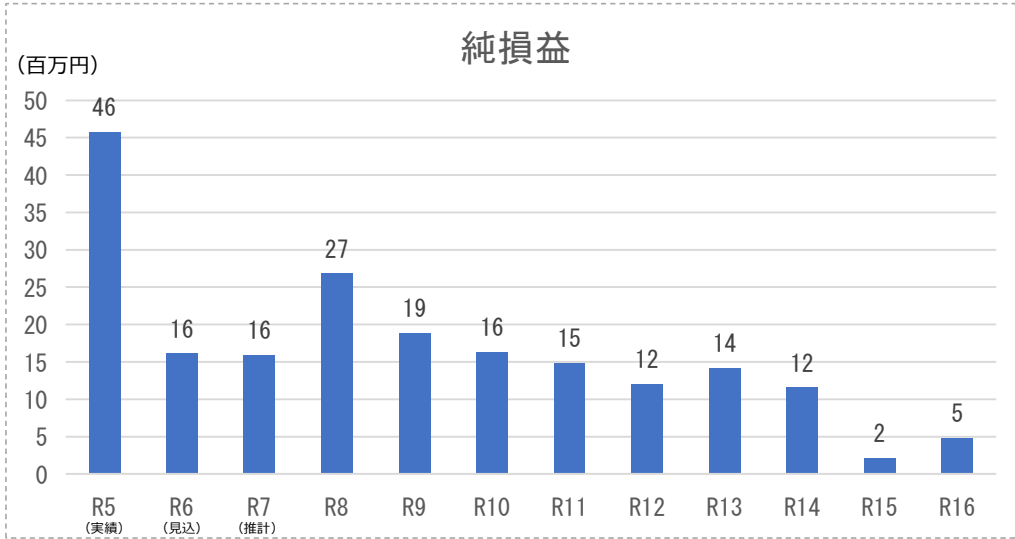
小浜市下水道事業会計の概要と状況について

■ 一般会計からの繰入金の見通し

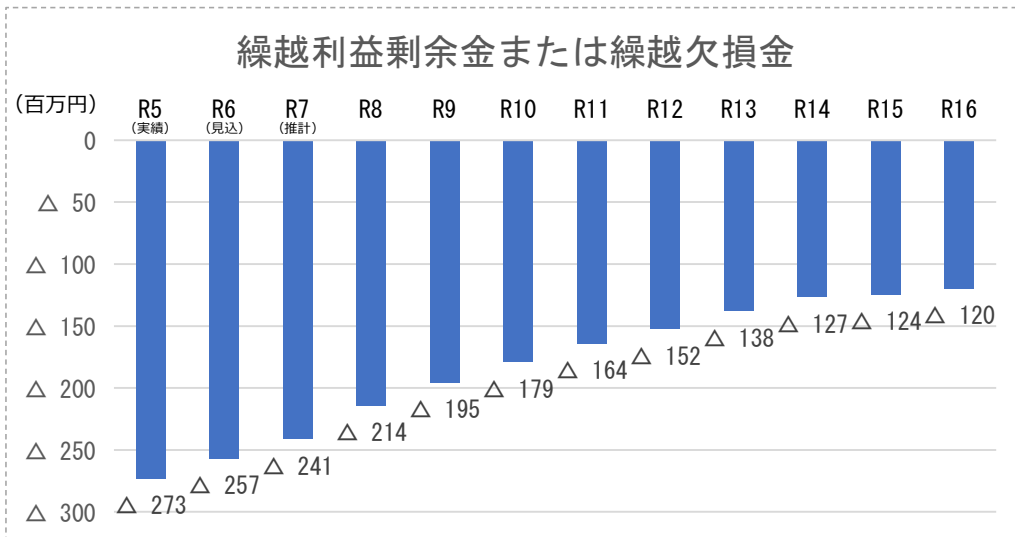
本市の財政部局との取り決め範囲内の繰入額で推移する見込みです。



繰越欠損金の見通し



毎年、純利益を計上できる見込みです。



純利益を計上することで、繰越欠損金が減少していく見込みです。

小浜市下水道事業会計の概要と状況について

■ 収支全体の見通し（再掲）

公共下水道事業の今後10年間の収支見通しは、一般会計との取り決めに基づく繰入金の計上を前提に、

- 経常収支が黒字
- 経費回収率（維持管理費）100%以上
- 資金残高を一定金額（1億円以上）確保
- 起債残高が減少傾向

➡ **支出に対して必要な収入は確保できる見込み**です。

まとめ

1. 今後も安定・継続した下水道サービスの提供に向け、普及拡大、浸水対策、ストックマネジメント計画に基づく処理場等の更新・耐震化等の投資が必要です。
2. 公共下水道事業は、公営企業会計移行時からの累積欠損金が残っていますが、黒字経営を続けており、累積欠損金の解消を図っています。
3. 使用料収入は、人口減少の影響により減少する見通しですが、公共下水道事業の今後10年間の収支見通しは、一般会計との取り決めに基づく繰入金の計上を前提に、支出に対して必要な収入は確保できる見込みです。

審議会の日程および概要（予定）

年度	回	月 日	概要
令和7年度	第1回	1月25日	委員委嘱、会長および副会長選出、 諮問、下水道事業の概要等説明
	第2回	1月28日	施設見学（小浜浄化センター）
			下水道事業の会計の仕組みや現状等説明
第3回	3月17日	経営状況等の説明	
令和8年度	第4回	5月中旬～下旬	料金改定の有無等
	第5回	7月上旬	答申案について
	答 申	7月下旬	審議会の意見を市長へ答申

※現時点の予定ですので、今後変更となる可能性があります。